

JEITA ソフトウェアエンジニアリング技術 ワークショップ2012

(高品質、安心、安全なソフトウェア・システム開発に向けてソフトウェアの進化を盛り込んだ開発手法、開発環境、その実践)

- 主催：情報システム・ディスラプティブ技術調査委員会
ソフトウェアエンジニアリング技術専門委員会
- 担当部署：インダストリ・システム部
- 参加者数：約100名

概要

情報システム・ディスラプティブ技術調査委員会では、ソフトウェアエンジニアリング技術の革新と新市場の創出に向けた活動を推進していくため、「ソフトウェアエンジニアリング技術専門委員会」を設置し、調査・研究活動を行っております。

本委員会では、今年度の活動の一環として、進化を織り込んだ最適なソフトウェア開発を目指し、現状と課題を整理し、最新の進化に関する研究を実際の開発現場にいかに取り入れるべきかを明らかにしていくために、ソフトウェアエンジニアリング技術ワークショップを開催致しました。

基調講演として、ソフトウェア進化とその支援制御の研究者として著名な立命館大学の丸山勝久教授をお招きし、ソフトウェア進化技術への対応として重要な構成管理、可視化、ソフトウェア解析、リエンジニアリングについてお話を頂きました。

その後、ソフトウェア進化の分類のいくつかを取り上げ、関係各社からの事例紹介があり、最後の拡張ディ

スカッションでは、ソフトウェア進化技術に関する成熟度を整理するとともに、退化するシステムを作らないために、理想的な開発手法およびその支援環境について議論をし、活発な意見交換が行われました。



プログラム

- 「ソフトウェア進化との付き合い方ー変化を受け入れるソフトウェア開発・保守技術ー」
丸山勝久 氏（立命館大学情報理工学部 教授）
- 「レガシーシステムの保守開発の実際とリバースエンジニアリング技術」
坂田祐司 氏（㈱NTTデータ 技術開発本部 シニア・エキスパート）
- 「コードクローン検出ツールCCFinderXによるレガシーシステム分析の実践」
長岡武志 氏（東芝ソリューション㈱ IT技術研究所 研究開発部）
- 「DSMを活用した設計改善の事例紹介～組み込みソフトウェア開発における大規模リファクタリング～」
牧 隆史 氏（㈱リコー コントローラ開発本部 シニアスペシャリスト）
- 「組み込み開発トレーサビリティ：TERASができること」
渡辺政彦 氏（CATS㈱ 副社長／一般社団法人 TERAS 理事）
- 「『摺合せ』によるソフトウェア開発」
三井伸行 氏（㈱戦略スタッフサービス 取締役）